

2026年3月31日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行

不動産メザンデットファンドへの出資について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規^{かめざわ ひろのり}、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 当行）は、今般、中期経営計画に掲げるリスクテイク力強化による競争優位確立を目的として、「M&D メザンデット2 投資事業有限責任組合（以下 本ファンド）」に出資いたしました。

本ファンドは、三菱商事株式会社（代表取締役社長 中西 勝也^{なかにし かつや}）100%子会社であるダイヤモンド・リアルティ・マネジメント株式会社（代表取締役社長 萬野 雅史^{まんの まさふみ}）がファンド運営を行い、当行をアンカー投資家とする複数の投資家からの出資により設立されました。

当行は、これまでお客さまに対する経営課題解決型アプローチを日々深化させていく中、リスクテイク・ソリューション提供力の強化を図ってまいりました。本ファンドは、リスクテイク強化のうち、不動産ノンリコースローンビジネスにおけるファイナンス競争力の強化を図ることを目的に設立されたものです。

本ファンドは、昨今の不動産ファイナンス市場の成長を取り込むとともに、2023年9月に出資済みの M&D メザンデット1 投資事業有限責任組合から投資クライテリアの調整を行い、より良質な投資機会を捕捉することを目的としています。また、本ファンドは2026年9月に最終クローズを予定し、更なる投資家の参画が可能な建付けとなっています。

本ファンドを通じた資金供給により、MUFG における不動産ビジネスの強化を図り、グループ一体での課題解決に取り組んでまいります。

【本ファンドの概要】

ファンド名称	M&D メザンデットファンド2 投資事業有限責任組合
運用者	ダイヤモンド・リアルティ・マネジメント株式会社
当初出資金総額	110 億円
ファンド期間	9 年
出資者	当行、国内金融機関などの投資家
投資対象	以下の不動産などを裏付資産とするメザン債権 ・オフィス、住宅、物流施設、商業施設、ホテル（宿泊施設）、底地及びそれらの複合施設、付帯施設 ・上記の開発用地及び開発中の建物

本プレスリリースは、当行の業務についての一般的な公表のみを目的としたものであり、本ファンド持分の勧誘を目的としたものではありません。

以 上